

しなののうた

行く春を惜しむがに落つ沙羅の花拾ふ掌花びらの舞ふ

l.MI

杉田小百合

しなののうた

桜狩できずに過ぎしこの春は缶ビール手に桜餅食む

杉田小百合



しなののうた

蒲公英の黄色の花が知らぬ間に絮となれるは謎めきをかし

l.MI

杉田小百合

しなののうた

神宮に拾ふ橡の実育ちきて若葉を広げ立夏を迎ふ

杉田小百合



しなののうた

朝なさに鶯の声聞きたれば春のたけなは捗りゆかん

l.MI

杉田小百合